

5月1日は世界の労働者と連帯・共同する日

メーデーの起源は1886年。アメリカの労働者・労働組合が「第1の8時間は仕事のために、第2の8時間は休息のために、そして残りの8時間は、おれたちの好きなことのために」をスローガンにストライキを決行。シカゴを中心に38万人以上の労働者が参加し「8時間労働制」を実現しました。

ところが資本家は、労働組合指導部をでっち上げ事件で投獄し、労働組合を孤立させ「8時間労働制」を破棄しました。それでも労働者は屈せず、1890年5月1日に再度ストライキを決行。これに世界の労働者が連帯して立

ち上がったのがメーデーのはじまりです。

日本では、「8時間労働制の実施」「失業の防止」「最低賃金法の制定」などの要求を掲げ1920年5月2日に東京・上野公園で初めて開催され1万人が参加。翌年からは5月1日に開催されるようになりました。

メーデーは、「万国の労働者、団結せよ」という世界的規模の連帯の日です。貧困・格差の解消を求める運動は日本だけでなく、世界共通の課題となっています。賃金底上げ・社会保障拡充など最低生活保障の実現に向けて世界の労働者と連帯したたたかいを強めましょう。

働くものの団結で生活と権利を守り、平和と民主主義、中立の日本をめざそう

第84回
愛知県中央

メーデー

8時間を仕事に

8時間を休息に

8時間を自由な時間に

そして8時間で生活できる賃金を

2013.5.1(水)

白川公園(名古屋市中区)

9:00 オープニング企画

9:30 開会